

政策提言委員会

メタネーションの取り組みを視察

当所が取りまとめた政策提言の「次世代エネルギー産業都市」に向けた取り組みの一つとして、政策提言委員会（植本浩明委員長：上杉教育機器㈱代表取締役社長）によるカナデビア㈱築港工場の視察が12月13日に実施されました。委員のほか、小西会頭と今安・芦生副会頭など役員を含めて、9人が参加。二酸化炭素と水素から都市ガス原料の主成分であるメタンガスを生成するメタネーション装置の説明を受けました。

近年、二酸化炭素を資源として捉えて有効活用するカーボンリサイクルの取り組みが進められているなか、同社の先端技術に触れ、新たなエネルギー産業に

関する知識を深めました。



左奥が社会実装用のメタネーション装置
(12月13日：カナデビア㈱築港工場)

「事業計画策定セミナー」を開催

～会社を成長させる
計画書の作り方を学ぶ～

自社の存在意義や解消すべき課題を考えながら、会社を成長させていくための事業計画の作り方を学ぶ「事業計画策定セミナー」を12月4日に開催し、6人が受講されました。

講師は、中小企業診断士の上田実千代氏（㈹オフィスウエダ代表取締役）が務め、事業計画書の役割や作成のメリットから、マーケティング戦略の考え方やSWOT（強み・弱み・機会・脅威）分析で自社を取り巻く経営環境について把握する方法まで説明いただきました。

上田講師は、「事業計画書を作成すると、事業の全体像が明確になり、客観的な分析ができるようになる。自社が目指す理想像や将来像をイメージし、それを実現するために必要となるプランを書き出していくことが大事である」「出来上がった事業計画書は、従業員

と共有することで、皆が一丸となって事業に取り組むことができる」と計画策定の重要性を話されました。

講座の最後に「3年後の会社経営」について、受講者それぞれが自社の将来像をイメージしながら、1年ごとに、取り組むべき課題を考え、事業計画書を作成しました。



事業計画書の重要性について学ぶ受講者
(12月4日：舞鶴商工会議所)

「創業サロン」を開催しました
創業を志す方々のための交流イベント

創業に興味のある方を対象とした「創業サロン」を12月15日、舞鶴商工会議所で開催し、13人が参加されました。

ゲストに浜地区にある旧丹後瓦斯ビルを全面改装し一昨年4月にオープンした「カフェ GASS」のオーナー、玉川直樹氏をお招きし、創業体験談をお話いただきました。

地元出身の玉川氏は、20年以上ファッション業界に携われ、現在も京都市内で企画や店舗開発に従事されています。玉川氏は、「当店は食事の場だけでなく、ファッションやアート、カルチャーを発信する拠点を目指しています」と話されました。

最後に、玉川氏から参加者へ、「やりたい事業に向

けて、まず一步を踏み出しましょう。年齢は関係ありません。夢を実現するには“計画”と“行動”が重要です」とアドバイスされました。

参加者は、創業について学び、また、意見交換ができる貴重な機会となりました。



創業体験談を話す玉川氏（正面奥）